

対象年度		平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート										
事務事業名		交通安全対策推進事業						予算事業名		交通安全対策推進経費				
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令					
				02	07	01	0501	経常経費						
総合計画体系		2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						事業の区分		主要事業				
		2-4安全に暮らせる安心なまちづくり(防災・防犯・安全)												
		③交通安全対策の推進						担当課係等		防災安全課				
		2交通マナー向上と交通安全教育の充実								交通防犯係				
事業期間		継続(年度～平成33年度)												
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
市民すべてが交通事故の加害者にも被害者にもならない、安全で住みよい街づくりを目指す。							全国的な交通事故の増加により市民の交通事故への危機感の高まりから交通安全の取り組みを実施した。							
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】							
交通対策協議会における事業を中心に行う。 ・各季の交通安全運動出陣式とキャンペーン ・小中学校等での交通安全教室 ・交通安全ポスターコンクール ・中学校自転車安全点検							市全体							
							【事業をとりまく環境の変化】 全国的に登下校時、児童生徒を巻き込んだの事故があることから、通学路における規制関係並びに安全対策等の要望が多くある。要望に関しては、要望箇所を含む通学路等の危険箇所の点検等を実施し、警察をはじめとする関係機関等との協議を進め、計画的に対策を講じている。							
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】						
・各季の交通安全運動出陣式とキャンペーン ・小中学校等での交通安全教室 ・交通安全ポスターコンクール ・中学校自転車安全点検				・各季の交通安全運動出陣式とキャンペーン ・小中学校等での交通安全教室 ・交通安全ポスターコンクール ・中学校自転車安全点検				・各季の交通安全運動出陣式とキャンペーン ・小中学校等での交通安全教室 ・交通安全ポスターコンクール ・中学校自転車安全点検						
■事業費														
				H29年度		H30年度								
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0							
	県		支	出	金	0	0							
	地		方		債	0	0							
	そ		の		他	0	0							
	一		般	財	源	6,725	6,935							
歳入計(千円)				6,725		6,935								
歳 出 内 訳	節(番号+名称)			金額(千円)		金額(千円)								
	08	報償費			423		420							
	11	需用費			223		372							
	12	役務費			37		46							
	13	委託料			4,023		4,016							
	14	使用料及び賃借料			16		16							
	18	備品購入費			0		49							
	19	負担金補助及び交付金			1,996		2,009							
	27	公課費			7		7							
歳出計(千円)(A)				6,725		6,935								
伸び率(%)						3.12								
備考	総合計画83ページ 予算書63ページ													

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	春・夏・秋・年末の交通安全運動	回	目標	4.00	4.00	4.00
	各季の交通安全運動時において、各関係機関団体と連携し、結城市内交通事故防止・撲滅を図る。		実績	4.00	0.00	0.00
	トワイライト・キラリ作戦	回	目標	12.00	12.00	12.00
	夕方薄暮時に市内のスーパー前で高齢者を中心に反射材を配布する。		実績	9.00	0.00	0.00
成果 指標	交通事故件数	件	目標	175.00	170.00	165.00
			実績	145.00	0.00	0.00
	高齢者事故件数	件	目標	55.00	53.00	51.00
			実績	33.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	交通安全対策推進は不可欠である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	警察及び交通関係機関団体との連携を図りながら行っている。
	手段の妥当性	A 妥当である	各季（春・夏・秋・年末）において実施している。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	警察をはじめ交通関係機関団体との連携による人員配置のため。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	キャンペーン活動は数カ所だが、立哨活動や広報活動等は市内全域で行っている。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	事故の件数が、昨年より減少しているため。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	現時点でできる範囲での交通安全対策推進は順調である。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
交通安全対策として、各季キャンペーン等による推進を図っているが、死亡事故及び高齢者のかかわる事故は相変わらず発生している。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
警察及び交通関係団体との更なる連携強化を図り、主に高齢者を対象とした啓発活動を行う。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 交通事故防止を目的とし、警察署及び関係団体と連携し、各種啓発活動を強化・継続する必要がある。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	